

第2期酒田市教育振興基本計画（後期計画）（案）への意見等の募集結果

第2期酒田市教育振興基本計画（後期計画）（案）への意見等の募集を、下記のとおり実施しました。

1 実施結果

- (1) 募集期間 令和5年12月20日（水）～令和6年1月8日（月）
- (2) 意見提出者 3名（メール）、意見提出 23件

2 寄せられた意見の概要と本市の考え方

No.	箇所	ご意見（要旨）	本市の考え方
1	全体	施策の中に後掲と記載しているものがあるが、順番に見ていった時に非常に理解が難しいため、最初に出てくる場所で記載して、後から出てくるものは再掲として記載する方法はいかがか。	・複数の基本方針に関する施策の場合は、主となる箇所に掲載しております。
2	1-1-(1)	施策（1）自尊感情・自己有用感を育む教育の推進 環境活動家の谷口たかひささんのお話を是非学校で聞いてほしい。 （全国各地で講演会を実施されていて、『夢みる小学校』の続編となる映画『夢みる給食』に出演予定。）庄内でも、高温障害によるコメ不作、不漁などの問題があるが、そういった環境問題と自己肯定感についてかっこよく語る姿も、子供達や大人にとって学びとなると思う。	・様々な人とのかかわりや体験等を通じた学びの時間が、子どもたちの自尊感情や自己有用感を高めると考えています。 ・施策の参考とさせていただきます。
3	1-1-(1) 1-1-(2)	施策（1）自尊感情・自己有用感を育む教育の推進 施策（2）防災教育・安全教育の推進 安全教育は生活安全、交通安全、災害安全、地域安全と学校内安全管理ではありません。 いのちの尊重で、重大な人災である、加害者として、犯罪を犯さないことが抜けています。 自殺防止の徹底と加害防止の倫理を学ぶことを計画で市民に明言する絶好の機会です。 僕は60年前、中一（私学）の時、これを朝礼と授業と夏休みの課題（作文）で学びました。 酒田市は本年、犯罪被害者等支援条例、男女共同参画など重要な新施策が目白押しです。 これらの求めるところを本計画に反映させないと、今後5年間のタイムラグが発生します。	・各学校では、子どもたちの話し合い活動や体験活動等を通して、多様な人間関係づくりを進めています。また自分の思いを素直に表現できる居場所づくりにも取り組んでおり、そのような居場所があれば子どもたちも安心して生活が送れるようになると考えています。 ・施策（2）については、学校で学んだ知識を、自分事として家庭や地域でも活用できるようにすることが次のステップで重要だと考えています。 ・例えば、自転車の乗り方の指導の中で加害者とならないためのルールやマナーの指導を行っています。

No.	箇所	ご意見（要旨）	本市の考え方
4	I-2-(3) I-2-(4)	<p>施策（３）道徳教育と人権教育の充実 施策（４）いじめ防止に向けた取組みの推進</p> <p>人権は国連でも国際法概念として、また日本の憲法に明言されている「国民の主権」です。LGBTQ+は勿論ですが、様々な差別を知ること、自己の心理的発達の仕組みを学びます。人格は生涯を通じて発展しますが、学校教育では幼稚園から中学校までの時間に限られます。心理学の教科がないために、自助、共助、公助など人格の形成に関わる教育が不足します。いじめ防止は身近な課題。自己の性格と他者の理解は、役割を替わる心理劇等が効果的です。学校教育に加え、保護者、地域、市民の力を求め、保育や福祉との連携を明示して下さい。</p>	<p>・学校教育の保護者や地域との連携、学校以外の機関との連携は必要不可欠と捉えています。連携については、他の施策でも触れていますのでこちらには記載しておりません。</p>
5	I-2-(4)	<p>施策（４）いじめ防止に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPIのQ-Uアンケートにおける「学級満足群」の割合は再掲であるが、P9の元の数値目標と異なっているが何か意図があるのか。 ・人間関係がある以上はいじめに発展するケースがあるのは仕方ないと思いますが、いじめの再発防止にもぜひ取り組んでいただきたいので、KPIにいじめの再発率（加害者側）を加えてはいかがでしょうか。 	<p>・ご意見のありましたとおり施策（４）の数値に統一します。</p> <p>・いじめの未然防止とともに再発がないように取り組んでいます。指導によりいじめの行為がやんだものを解消としないで、いじめの行為がやんだから3か月以上かつ被害児童生徒が心身に苦痛を感じていないことをもって解消として、指導後も見守りを続けています。いじめ再発の定義が定まっていないため、KPIに設定することは馴染まないと考えます。</p>
6	II-3-(1)	<p>施策（４）学校における体験学習と交流体験の推進</p> <p>命を育む生物・環境学習の意識が不足です。体験・交流学習、ジオパークだけでは寂しい。以前は総合学習で余裕あるプログラムを学校と協議しました。今も部活並みに協働可能です。</p>	<p>・基本方針Ⅰ「いのち」の大切さを学ぶ教育を推進する中でも触れております。</p>
7	II-4-(2) IX-13-(3)	<p>施策（２）基礎的運動能力の向上 施策（３）スポーツによる賑わいとまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つや姫マラソンの日とは別に、スポーツに親しむお祭りをしてみてもどうか。 <p>私の地元では、スポレク祭といって、体育の日にみんなでスポーツに親しむ日がある。体力テストやスポーツに親しみながら子供と一緒に大人も体を動かすことで、健康寿命やウェルビーイングの向上、医療費削減に繋がると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また中町の交流広場や体育館で、週一回は思いっきり走る日を設けてもいいのではないかと。小学生のみ、幼児のみと学年を分けることで、走るレベルに合わせて場所を開放できると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見として伺います。 ・本市においても、これまで市民体育祭や体力測定会を開催し、市民の方がスポーツに参加できる環境づくりを行っています。 ・地区対抗による市民体育祭は令和5年度で終了しますが、令和6年度からはモルックやカローリングなどのニュースポーツによる、市民の誰もが参加できる大会の開催を検討しています。
8	II-4-(3)	<p>施策（３）食育の推進</p> <p>食育とともに、農業に従事したいという若い人達を増やすという未来への希望も込めて、農家さんを手伝ったり話を聞いたりする機会を設けてもいいのではないかと。</p>	<p>・これまでも各校で、学校や地域の特色を生かした食育活動に取り組んでいます。家庭・地域を巻き込んだ取組等、各校で工夫して取り組んでいます。</p>

No.	箇所	ご意見（要旨）	本市の考え方
9	III-5-(1)	<p>施策（１）小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田市小中一貫教育ビジョンにある「まなびの樹」による指導と支援は分かりやすく、大変良いことだと思う。その中で、課題にある「教科の勉強が好き」と答える児童生徒が少ないことについては、どうして好きじゃないかを深掘してほしい。授業改善により学ぶ意義や楽しさを実感してもらうことももちろん大切だが、将来どんな姿になりたいか生徒と共に考え、大谷翔平選手のようなライフプランを作成し学ぶ意義を見出すことも、教科の勉強が好きになる一歩かと思う。 ・また「重要業績評価指標（KPI）」（自分にはよいところがある、夢や目標がある、人の役に立ちたいと思っている生徒の割合）では、小学生より中学生の割合が低く、本来ならば、成長するにつれて大人になることへの希望や熱意を高めていかなければと思うがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見として伺います。 ・現在、各学校ではマイプランノートなどを活用したキャリア教育の充実に取り組んでおります。 ・中学生の時期は自己実現に向けて自分と向き合う中で、自分の気持ちとのギャップに苦戦する時期となっています。市として重点にしている「根の力」を育成することにより子ども達の夢や希望を広げていきます。
10	III-6-(1)	<p>施策（１）情報活用能力の育成とICT環境の充実</p> <p>小学校低学年時から情報モラルについての指導を実施しているようだが、小中高とライフステージが変わる際には、携帯電話をどういったときに使っていくか、その都度考えてほしい。目の前に人がいて会話している場合、食事中などは携帯電話を使わないといったように、どのように携帯電話と付き合っていくことが円満な人間関係を構築していく中で大切なのか考える時間があつた方がいいと思う。私自身、主人との交際期間や結婚生活においても問題になったことがあるからだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末が導入されてから、本市では主に小学校1年生を対象に、利用の仕方をはじめ、情報モラルについても掲載されているパンフレットを配信しています。学校でも担任教諭による指導の他、最近では青少年指導センターの指導員より、PTA研修会等で端末の利用にあたっての注意点について講演をしている学校もあります。生成AIの発展もあり課題意識も高まりつつある中で、学校だけでなく家庭とも情報共有し、子どもも大人も情報モラルについて考える機会を提供していきます。
11	III-6-(3)	<p>施策（３）環境教育の推進</p> <p>SDGsへの対応、とても素晴らしい。子供の方が大人より学習をしていて、現在の世界的な環境問題に目を向け行動している中で、酒田にいる大人も一緒になって行動していかなければいけないと思う。酒田市環境衛生課の皆さんとともに、子供達が学習した内容を大人に向けてどんどん発信してもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の総合的な学習の時間では、SDGsに取り組む学校が多く、特に海に隣接する本市としては、自然環境に関心が高いことが伺えます。コロナ渦以前は、親子レクで川や海の清掃に取り組むところもあったので、今後は学校の取り組みを広げ、学校だけでなく、自治体や企業、NPOとも連携した活動ができればよいのではないかと考えています。
12	III-6-(4) IV-8-(2)	<p>施策（４）理科教育・「ものづくり」の推進 施策（２）切れ目のない支援等に向けた関係機関との連携</p> <p>酒田杉やその他木材を使ったものづくり体験にも挑戦してもらいたい。その体験を通して、文化を継承したいという後継者を発掘できるかもしれないと考える。学校に行くことができない人の別の居場所としても、ものづくりの学校という存在が必要ではないかと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市における「ものづくり」の推進は、名誉市民である故中村恒也様からの寄付金で行われている「中村ものづくり事業」によるものです。今後、子どもたちの多様性を認め、自主性を育てるために、科学分野だけでなく様々な分野のものづくりを選択肢の一つとして考えていきます。

No.	箇所	ご意見（要旨）	本市の考え方
13	III-6-(5)	<p>施策（５）主権者教育・消費者教育・会計教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 公職選挙法（昭和25年法律第100号）の改正で平成4年4月1日（令和4年4月1日と推察）からとなっていますが、選挙権年齢の引き下げ1と成年年齢の引き下げ2を誤って記載しているものと思われます。 1 選挙権年齢の18歳以上への引き下げを内容とする、公職選挙法等の一部を改正する法律の施行日は平成28年6月19日である。 2 成年年齢を18歳に引き下げを内容とする、民法の一部を改正する法律の施行日は令和4年4月1日である。 <p>・現状と課題「○消費者には、自らの行動が社会に影響を与えることの自覚と…取り組んでいます。」とあるが、こういった消費行動ができるよう、酒田市内にある企業はSDGsに前向きに取り組んでほしいと思うが、現在子供たちが学んだ事柄を実践し、消費行動ができる企業を教えてください。</p> <p>私は、コピー（エシカル消費についての冊子作成、余計な包装紙をなくす、環境に配慮した商品の販売）、平田牧場（お米を食べて育てた豚肉、太陽光発電を利用した工場など）、ト一屋（太陽光発電）が持続可能な取り組みをされている企業と考え、応援し買い物をしている。</p> <p>私にとってもこれからの消費行動の参考になるため教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主権者教育とありますが、本来は憲法学習（僕は10歳と14歳と18歳の3回教わりました） <p>主権者教育は国家・社会の形成者とありますが、市長選がなかった酒田市をどう学ぶのか？</p> <p>消費者教育や会計教育（中学校）も大事ですが、以前は労働や納税についても学びました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のありましたとおり文言を修正いたします。 酒田市内では、小売業に限らず様々な業種の事業所においてSDGsに取り組んでおりますので、事業所名の公表は控えさせていただきます。 社会科では公民分野で、政治や市場経済の仕組み等を学習しています。また家庭科では、ライフプランに合わせて生計を立てることや、消費者の権利や責任等について学ぶことで自立した社会の一員としての力を育てています。
14	III-7-(1) IV-8-(2)	<p>施策（１）キャリア教育の充実 施策（２）切れ目のない支援等に向けた関係機関との連携</p> <p>本計画推進にあたり、他者に主体性を委ねる場合の連携について、どのような対応をするか学校の先生や教育委員会が学校教育の全てを賄うことはもはや無理です。学校に専門家や地域の協力を導入する時代です。市民にひらかれた学校教育のあり方をもっと鮮明にしてください。</p> <p>保育園との連携も、ひとりひとりの子供の人格を育む連携でなくてはなりません。学年で区切れない人格の発展と学級経営をどう成り立たせるか、課題の解決方向が明示されていません。</p> <p>統合小学校、小中学校、中高一貫校など、これまでの枠組みが大幅に組み換わる時代です。</p> <p>本計画で、教育委員会自身の改革や発展、協働の方向を示すことが、求められている筈です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市としては、III施策（１）でもお示した通り、中学校区ごとの小中一貫教育を進めているところです。目指す子ども像を共有し、9年間の系統性と一貫性のある特色ある教育を行い、子どもを育てています。この取り組みを進める上でスクール・コミュニティという概念のもと学校のみならず地域や家庭の協力も得ながら地域の大人も共通理解を持って子どもの教育に関われるよう取り組んでいきます。

No.	箇所	ご意見（要旨）	本市の考え方
15	V-9-(4)	<p>施策（４）学校における働き方改革の推進</p> <p>「●教職員の業務は、学習指導のみならず生徒指導や部活動指導、PTA業務、さらに多様化した課題への対応等多岐に渡り多忙を極めています。」とあるが、日々子供達のために考え行動されている先生方には尊敬の思いと感謝をしている。子育てをされていて思うのは、自分に余裕がないと子供達にやさしく接することができず、つい感情的になってしまうということだ。完全に一緒というわけではないと思うが、先生方の心身の健康維持は、子供達と接する際に重要な要素となるはずなので、身を粉にして働くのではなく、子供達と一緒に楽しく生き生きとした生活を送ってほしいと願う。子育てにおいては、やらなくてもいいことは後回し（掃除、皿洗いなど）にしていって、学校での働き方でも優先順位を決めてやらなくてもいいことは今はやらず、勤務時間内で終わらせることを目標にしてもらいたい。先生方だけでなく保護者にも仕事を振ってもらえたらと思うがどうか。</p>	<p>・貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘いただいたように学校と保護者、地域とも情報を共有し、協力していきます。</p>
16	VI-10-(1)	<p>施策（１）地域プロデューサーの配置による、地域と学校の連携強化</p> <p>地域プロデューサーが率先して、持続可能な地域づくりを推進していく取り組みは素晴らしいと思う。広報でプロデューサーの紹介をしてもっと情報発信してほしい。</p> <p>肩にカーディガンを羽織った写真を掲載しても良いかと…まじめな中に少しのユーモアが良いスパイスになると思うので。</p>	<p>・できるだけ親しみを感じていただけるような情報発信に努めてまいります。</p>

No.	箇所	ご意見（要旨）	本市の考え方
17	III-7-(1) VII-11-(1)	<p>施策（１）キャリア教育の充実 施策（１）ふるさと教育の推進</p> <p>少子化社会の捉え方について、新しい視点と課題を提示します。</p> <p>子供等の時代は多数の死と向き合う人口減少社会です。社会心理的な影響の学びが必要です。</p> <p>私達は多数者の競争社会しか知りません。共感性を育むアナログ体験は地域の協力が必要です。</p>	<p>・子どもたちが、生まれ育った地域の伝統行事へ参加したり職場体験などにより、人と人とのつながりを実感できる機会を設定したりすることにより、共感性を育む活動を地域と連携しながら行っていきます。</p>
18	IX-13-(2)	<p>施策（２）感動と活力に満ちた競技スポーツの推進</p> <p>・「みる」「ささえる」スポーツの推進のためにも、KPIにアランマレーレのホームゲームでの入場者数を加えてはいかがでしょうか</p>	<p>・2023-2024シーズンにおけるアランマレー山形のホームゲームは、市国体記念体育館が大規模改修工事で使用できないことから、鶴岡市、天童市、一関市の体育施設で開催されています。令和6年4月からは市国体記念体育館の使用が再開されますが、来シーズンの市国体記念体育館でのホームゲームの開催回数は未定です。</p> <p>・ホームアリーナについては、現在、関係者と意見交換や情報共有を行いながらアリーナ整備の可能性を様々な角度から探っていることから、現時点でホームゲームでの入場者数をKPIに設定するのは馴染まないと考えます。</p>
19	IX-13-(4)	<p>施策（４）安全安心なスポーツ活動のための環境整備</p> <p>・安全安心なスポーツ活動のための環境整備に関連したKPIの設定が望ましいのではないかと。例えば、計画的な整備・改修の進捗率や、施設の不具合等によるケガの件数などを設定してはいかがかと。</p> <p>・既存のKPI（スポーツ施設の延べ利用者数）は、施策（１）のKPIとした方がいいのではないかと</p>	<p>・市では使用用途や建設年度が異なる複数の施設を管理しており、その整備や改修内容は経年劣化具合や使用頻度により異なります。そのため、整備の進捗率の設定は困難です。</p> <p>・施設の不具合等によるケガの件数は、その指標値の目標が0件となるため、KPIに設定するのは馴染まないと考えます。</p> <p>・施策（１）生涯スポーツの推進は、スポーツ施設以外（地域のコミセンや自治会館等）での活動も想定しているため、スポーツ施設の延べ利用者数をKPIに設定するのは馴染まないと考えます。</p>
20	X-14-(4)	<p>施策（４）学校における読書活動の推進</p> <p>学校における読書活動ということで、授業1時間を読書の時間にあてるというのはどうか。課題はなく、自分の好きな本、あるいは教育方針にそった本など教科書以外の本を読むことが、学校教育の一つではないかと考える。</p>	<p>・学校における読書活動については、各校がそれぞれ工夫しながら推進しています。酒田市教育委員会では、市立図書館と連携して図書専門員や司書教諭を対象にした研修を行うなど学校における読書活動を支援していきます。</p>
21		<p>外国語 英語は必須共通語ですが、初級の英語は学力よりも、多言語文化理解への道標です。</p>	<p>・施策の参考とさせていただきます。</p>
22		<p>落ちこぼれはありません。落とさずこぼさない教育こそ、少子化社会が目指す教育です。</p>	<p>・施策の参考とさせていただきます。</p>

No.	箇所	ご意見（要旨）	本市の考え方
23		<p>高校や大学についてはここでは対象になっていませんが、県立に移行する予定の東北公益文科大学については地域のフィールドセンターとして、特別な期待があります。地域や市政が担う行政課題の調査研究・課題解決とその人材育成です。具体的には、喫緊では犯罪被害者支援研究、男女共同参画、ドメスティックバイオレンス、ストーカーなど、さらに人権や差別の国際コミュニケーションなど、酒田に深く関わる様々な課題があります。また教育委員会が求める外部人材の育成や研修、スキルアップなど、市民が必要な課程を履修できる環境整備を推進するなど、いろいろ考えられます。これらは酒田市民の自発的な自助に基づく共助・公助の展開につながります。一般市民の教育を支える普遍的な力を養うことが、教師経験者だけに頼らざるを得ない現状から脱皮して、「学び合い、ともに生きる公益のまち酒田の人づくり」が実現できると思いました。</p>	<p>・貴重なご意見として受け止めさせていただきます。</p>